

KDDI ホスティングサービス (G120, G200)

EC-CUBE インストールガイド

(ご参考資料)

rev.1.2

KDDI 株式会社

(目次)

1. EC-CUBE インストールガイド	3
1-1 はじめに.....	3
1-2 制限事項.....	3
1-3 サイト初期設定	4
2. EC-CUBE のインストール(コントロールパネル付属インストーラより)	9
3. EC-CUBE のインストール(手動インストール)	13
3-1 はじめに.....	13
3-2 データベースの作成.....	13
3-3 EC-CUBE のインストール.....	15

1. EC-CUBE インストールガイド

1-1 はじめに

KDDI ホスティングサービスの G120, G200 では、EC-CUBE のインストールが可能です。ここでは、コントロールパネルからのインストール方法と、手動インストールの方法をご説明いたします。

1-2 制限事項

- ・ EC-CUBE のインストールは、コントロールパネルからでも行なえますが、より詳細に設定する場合（任意のパスや URL をドメイン名にする場合）は、手動インストールすることでその設定が可能になります。
- ・ 本サービスでは、EC-CUBE の機能や操作方法のサポートは行なっておりません。書籍またはインターネットをご参考にしてください。
- ・ 本書は、DNS サーバおよびレコードが設定されていることを前提としております。DNS 切替前のお客さまはセットアップできない場合がございますが、その際は、クライアント PC の hosts ファイルを KDDI ホスティングサービスの IP アドレスに設定してください。（hosts ファイルの操作については、サポートしておりませんので、Microsoft のサイトもしくは書籍等をご参考にしてください。ホスティングサービスの IP アドレスの確認方法は、「セットアップガイド」をご参考にしてください）

1-3 サイト初期設定

EC-CUBE をご利用になるには、事前にウェブサーバを起動しておく必要があります。ウェブサーバの起動については、コントロールパネルより「ウェブホスティングの追加」を行ないます。

- (1) コントロールパネルにログインし、[ドメイン名] > [ドメイン名の管理] を選択します。表示されているドメインリストの中で、EC-CUBE をインストールするドメインの「ウェブホスティング」を追加します。

※ 既にウェブホスティングを設定済みの場合は必要ありません。

- (2) (1)にて、[ドメイン名]をクリックして、ウェブホスティングの追加を行ないます。

- (3) ホスティングに「ウェブサイト(Microsoft IIS)」が表示されていることを確認し [次へ] をクリックします。

- (4) ドキュメントルートへのパスを指定し [次へ] をクリックします。
(ドメイン・サブドメインを追加する場合は、任意のディレクトリ名を入力します。デフォルトではドメイン名のディレクトリが wwwroot の下に作成されます。通常はデフォルトのままです。)

サーバー管理 > メニュー > ドメイン名 > ドメイン管理 > kddi.collaby.com Screen ID: 2.72.11.70

ウェブホスティングの追加 リフレッシュ

ウェブスペース設定

ウェブサイト: ウェブスペース (IIS 6.0)

場所: example.com
(サブドメインのドキュメントルートとして指定したディレクトリ(パス)がなかった場合には、自動的にパスが作成されます。)

<< 戻る 次へ >> キャンセル

- (5) ウェブサイトの詳細設定を行ないます。PHP や Perl、ASP のご利用有無と FTP のパスワードを設定してください。(※一度作成した後でも再度設定変更が可能です)
「PHP のサポート」の設定を「ISAPI extension として実行」にします。

サーバー管理 > メニュー > ドメイン名 > ドメイン管理 > kddi.collaby.com Screen ID: 2.72.11.66

新しいウェブスペースの追加 リフレッシュ

ウェブサイトの設定パラメーターを入力してください。

ウェブサイトのパラメーター

ドメイン名: kddi.collaby.com

IISのバージョン: IIS 6.0

ウェブサイトの設定

SSSIのサポート:

PHPのサポート: ISAPI extension として実行

Active Perlサポート:

ASPのサポート:

ASP.NET サポート: ASP.NET 2.0

FTPの設定

FTPのサポート

ログイン名: <自動的に生成されます>

パスワード: ●●●●●●

パスワードを確認: ●●●●●●

新しいパスワードを生成

<< 戻る 次へ >> キャンセル

- (6) アクセス解析 AWStats を利用する場合は「AWstats をこのドメイン名にインストール」のチェックボックスにチェックを入れ、パスワードを設定します(利用されない場合はチェックを入れなくても構いません)。
[次へ] をクリックします。

サーバー管理 > メニュー > ドメイン名 > ドメイン管理 > [ドメイン名].com
Screen ID: 2.11.11.61

ウェブホスティングの追加

AWStats

AWstatsをこのドメイン名にインストール

パスワード:

新しいパスワードを生成

<< 戻る 次へ >> キャンセル

- (7) 確認画面が表示されます。設定した内容を確認し、[完了]をクリックします。

サーバー管理 > メニュー > ドメイン名 > ドメイン管理 > [ドメイン名].com
Screen ID: 2.11.11.57

ウェブホスティングの追加

i **ホスティング作成の概要:**
ウェブサイト (Microsoft IIS) のホスティング再設定の準備が完了しました。入力した設定値に間違いが無いか確認してください。また、完了ボタンをクリックすると現在のドメインに関する設定が初期化され入力項目が新たに設定されます。一部の変更の場合は、該当ドメインの[ウェブ管理]の[全般]画面で変更を行ってください。

ウェブスペース設定

ウェブサイト: www.[ドメイン名].jp
場所: [ドメイン名].com

AWStats

AWstatsをこのドメイン名にインストール: はい

<< 戻る 完了 キャンセル

(8) 全般の「同期」、DNSの設定の「DNSホスティングステータス」の2項目が、[いいえ] から [はい]、[更新中] から [準備完了] のステータスにそれぞれ変わると、ご利用いただけます。

(ステータスは自動では変わりません。右上の[リフレッシュ] をクリックするとステータスが更新されます。)

例: example.com

Screen ID: 2.11.11.5

リフレッシュ

概要 DNS管理 ウェブ管理 ウェブサイト管理者 ウェブアプリケーション

全般

ID: [非表示]
名前: [非表示].com
同期: いいえ はい
ゾーン管理機能: 有効

編集

DNSの設定

DNSホスティングステータス: 更新中 準備完了
DNS管理: 有効

ウェブホスティング

ウェブホスティングタイプ: Microsoft IIS 6.0 (ウェブスペース標準)
URL: http://[非表示].com
場所: /wwwroot/[非表示].com
同期: いいえ はい

詳細の表示
ホスティングの変更(初期化)
ホスティングの削除

※ご注意

同期ステータスが「はい」(緑色) に変わるまで、約 1 分～10 分程度かかります。

(9) デフォルトページの優先順位を確認・設定します。

左メニューより、[ウェブサイト]>[ウェブサイトの設定]を選択し、タブより[デフォルトページ]をクリックします。

契約ID: [不明] ウェブスペース: [不明] Screen ID: 2.72.31.59

サーバー管理 > メニュー > ウェブサイト

ウェブサイトの設定

概要 パフォーマンス ログ **デフォルトページ** エラーページ MIMEタイプ アプリケーションプール

デフォルトページのリストです。ドキュメントは指定された優先順位に従って検索されます。

編集 削除

優先順位	ドキュメント
<input type="checkbox"/> 0	Default.htm
<input type="checkbox"/> 1	Default.asp
<input type="checkbox"/> 2	Default.aspx
<input type="checkbox"/> 3	index.php
<input type="checkbox"/> 4	index.htm
<input type="checkbox"/> 5	index.html
<input type="checkbox"/> 6	index.php5

合計7アイテム 1ページあたりの表示数: 25 50 100

(9) 「index.php」ファイルの優先順位を「index.html」よりも高くします。（「優先順位」の値が小さいほど、優先度は高く設定されています）[編集]ボタンをクリックすると、優先順位を設定できます。

サーバー管理 > メニュー > ウェブサイト Screen ID: 2.72.31.59

ウェブサイトの設定

概要 パフォーマンス ログ **デフォルトページ** エラーページ MIMEタイプ アプリケーションプール

デフォルトページのリストです。ドキュメントは指定された優先順位に従って

デフォルトページ:

Default.htm
Default.asp
Default.aspx
index.php
index.htm
index.html

Default.htm
Default.asp
Default.aspx
index.php
index.htm
index.html

(ドキュメントは指定された順序で検索されます。区切り記号として「Enter」、セミコロン、またはカンマを使用してください。)

送信 キャンセル

2. EC-CUBE のインストール（コントロールパネル付属インストーラより）

コントロールパネルに付属しているインストーラより EC-CUBE をインストールします。

※本マニュアルは、<http://www.お客さまドメイン名/ec/> の URL でインストールした場合の手順をご紹介します。

- (1) [ウェブサイト]>[ウェブサイトの設定]にて[ActivePerl]がオンになっていることを再確認します。

オンになっていない場合は、[編集]ボタンをクリックして、チェックを入れて[送信]ボタンをクリックして設定します。

このスクリーンショットは、コントロールパネルの「ウェブサイトの設定」ページを示しています。左側のメニューで「ウェブサイト」が選択されており、「ウェブサイトの設定」が強調されています。右側の設定領域には、「基本設定」セクションがあり、「Active Perlサポート」が「オン」になっていることが赤い枠で強調されています。また、「FTPの設定」セクションも表示されています。

- (2) [ドメイン名]>[ドメイン管理]より、[ウェブアプリケーション]のタブをクリックします。

下記、画面が表示されたら[インストール]ボタンをクリックします。

このスクリーンショットは、コントロールパネルの「ドメイン管理」ページを示しています。左側のメニューで「ドメイン名」が選択されており、「ドメイン管理」が強調されています。右側のタブメニューで「ウェブアプリケーション」が選択されており、その下の「インストール」ボタンが赤い点線で囲われています。

- (3) 「アプリケーション」から「EC-CUBE」を選択します。

サーバー管理 > メニュー > ドメイン名 > ドメイン管理 > [www.kddi.com](#) Screen ID: 2.11.43.22

WEBアプリケーションパッケージのインストール リフレッシュ

インストールするアプリケーションを選んでください

合計3 アイテム 1ページあたりの表示数: 25 50 100

アプリケーション ▲	カテゴリ	概要
EC-CUBE	E-commerce	EC-CUBE is an online shop e-commerce solution.
movabletype	Blog	Powerful publishing platform.
WordPress	Blog	WordPress (ワードプレス) は、オープンソースのブログ/CMS プラットフォームです。

合計3 アイテム 1ページあたりの表示数: 25 50 100

- (4) 「db」、「php」が「OK」と表示されているのを確認し、[次へ]をクリックします。

サーバー管理 > メニュー > ドメイン名 > ドメイン管理 > [www.kddi.com](#) Screen ID: 2.11.43.25

EC-CUBE をインストール中 リフレッシュ

要件 1

要件	必要な値	\$Id: Web.xml,v 1.1 2006/11/08 12:19:40 au Exp \$
▶ db		<input checked="" type="radio"/> OK
▶ php		<input checked="" type="radio"/> OK

<< 戻る **次へ >>** キャンセル

- (5) インストールするパス、管理者の設定、アプリケーションのタイトルの設定を行ないます。

サーバー管理 > メニュー > ドメイン名 > ドメイン管理 > [www.kddi.com](#) Screen ID: 2.11.43.13

EC-CUBE をインストール中 リフレッシュ

共通設定

URL パス:
(アプリケーションにアクセスするウェブサイトのURL/パス)

管理者の設定

ログイン名:

パスワード:

eメールアドレス:

アプリケーションのタイトル:

<< 戻る **次へ >>** キャンセル

(6) 確認画面が表示されます。よろしければ、[完了]をクリックします。

サーバー管理 > メニュー > ドメイン名 > ドメイン管理 > [www.example.com](#) Screen ID: 2.11.43.12

EC-CUBE をインストール中 リフレッシュ

アプリケーションをインストールする準備ができました。
下のデータを確認の上、「完了」を押してください。

バージョン: 2.4.1-12
ドメイン: [www.example.com](#)
URL パス: /eccube/

管理者の設定

ログイン名: admin
パスワード: *****
eメールアドレス: [*****@example.com](#)
アプリケーションのタイトル: (タイトル記入)

要件 1

要件	必要な値
▶ db	
▶ php	

(7) 「ステータス」がインストール中になり、インストールが完了すると「インストール済み」と表示します。
(表示の更新は、自動では行なわれませんので、「リフレッシュ」をクリックしてください)

完了:
アプリケーションのインストールがスケジュールされました。

合計1 アイテム 1ページあたりの表示数: 25 50 100

ID	アプリケーション ▲	URLパス	バージョン	アップグレード可能	ステータス	最終操作	エントリーポイント
4652	EC-CUBE	/eccube	2.4.1-12	<input type="radio"/> いいえ	インストール中		

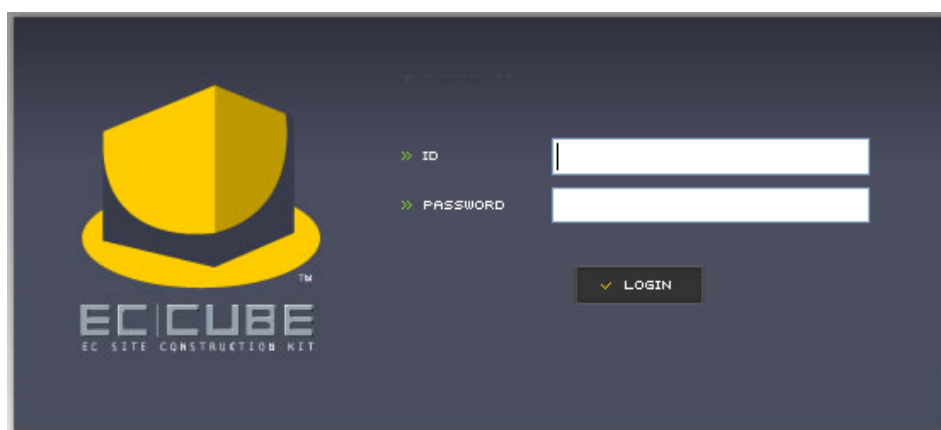
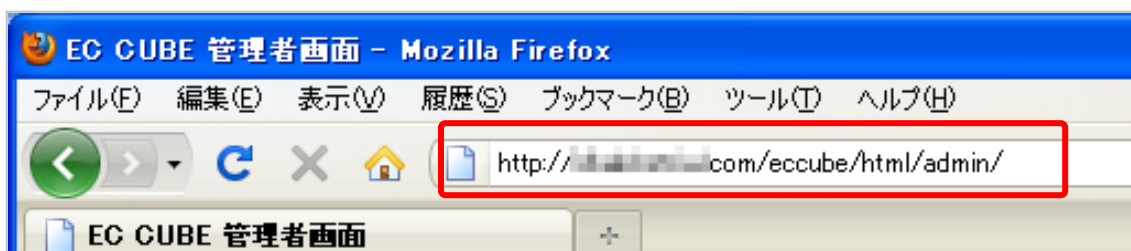
合計1 アイテム 1ページあたりの表示数: 25 50 100

合計1 アイテム 1ページあたりの表示数: 25 50 100

ID	アプリケーション ▲	URLパス	バージョン	アップグレード可能	ステータス	最終操作	エントリーポイント
4652	EC-CUBE	/eccube	2.4.1-12	<input type="radio"/> いいえ	インストール済み		ログイン ⇨

合計1 アイテム 1ページあたりの表示数: 25 50 100

- (8) (7)にて「エントリーポイント」の「ログイン」をクリックすると、EC-CUBE の管理画面へのログイン画面を表示します。設定した管理者 ID とパスワードでログインできます。



※ご注意

EC-CUBE の機能や管理画面の操作方法は、サポート対象外となります。
詳細については、書籍またはインターネット等をご活用ください。

3. EC-CUBE のインストール（手動インストール）

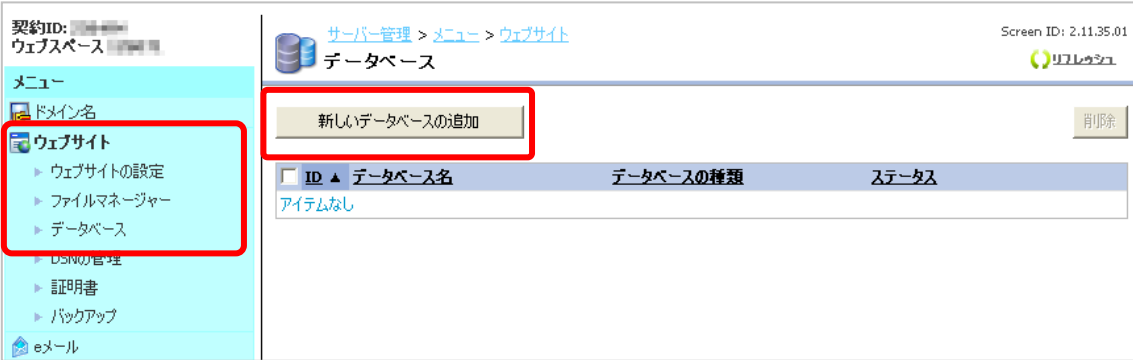
3-1 はじめに

ウェブサーバの初期設定「1-3 サイトの初期設定」が実施されていることを前提に以下手順を記します。

3-2 データベースの作成

EC-CUBE で利用するデータベースを作成しておきます。

(1) メニューより、[ウェブサイト]>[データベース]を選択し、[新しいデータベースの追加]をクリックします。



The screenshot shows the control panel interface for database management. On the left, a sidebar menu has 'ウェブサイト' (Website) highlighted with a red box. The main content area shows the breadcrumb 'サーバー管理 > メニュー > ウェブサイト' and 'データベース' (Database). A button labeled '新しいデータベースの追加' (Add new database) is highlighted with a red box. Below the button is a table with columns 'ID', 'データベース名', 'データベースの種類', and 'ステータス'. The table currently contains no items, indicated by 'アイテムなし' (No items).

ID	データベース名	データベースの種類	ステータス
アイテムなし			

- (2) データベースタイプに「MySQL (MySQL5 databases)」を選択して、[次へ]をクリックします。

サーバー管理 > メニュー > ウェブサイト > データベース Screen ID: 2.11.35.02

新しいデータベースの追加 リフレッシュ

新しいデータベースの情報

データベースタイプ: MySQL (MySQL5 databases) ▾

次へ >> キャンセル

- (3) データベースの情報および、ユーザ情報を設定し、[次へ]をクリックします。

サーバー管理 > メニュー > ウェブサイト > データベース Screen ID: 2.11.35.03

新しいデータベースの追加 リフレッシュ

新しいデータベースの情報

データベースタイプ: MySQL

データベース名:
(データベース名は 64 文字以上にすることはできません。最初の 9 文字はユニークで 55 文字まで入力可能です。)

新しいデータベースのユーザー情報

データベースのユーザー名:
(データベースのユーザー名は 16 文字以上にすることはできません。最初の 8 文字はユニークで 8 文字まで入力可能です。)

パスワード:

次へ >> キャンセル

- (4) 設定情報を確認し、よろしければ[確認]をクリックします。

サーバー管理 > メニュー > ウェブサイト > データベース Screen ID: 0.00.00.00

新しいデータベースの追加 リフレッシュ

i 概要:
新しいデータベースの作成準備ができました。下記のデータが正しいことを確認してください

新しいデータベースの情報

データベースタイプ: MySQL

データベース名: db_*****_ec

ディスク容量リソース: Diskspace [MySQL5]

新しいデータベースのユーザー情報

データベースのユーザー名: u_*****_ec

パスワード: *****

完了 キャンセル

(5) ステータスが「作成中」から「準備完了」になればデータベースの作成が完了です。

(画面の更新は自動では行なわれません。[リフレッシュ]ボタンで更新されます。更新には数分かかります)

ID	データベース名 ▲	データベースの種類	ステータス
17286	db_..._ec	MySQL	● 準備完了

3-3 EC-CUBE のインストール

※本マニュアルは、http://www.お客さまドメイン名/ec/ の URL でインストールした場合の手順をご紹介します。

(1) インストール先ディレクトリを作成します。

コントロールパネルのメニューより、[ウェブサイト]>[ファイルマネージャを開く]をクリックして、ファイルマネージャを表示させます。(ファイルマネージャの初期設定が完了していない場合は、設定します。)

このスクリーンショットは、コントロールパネルの「ファイルマネージャ」画面を示しています。左側のメニューには「ウェブサイト」の下に「ファイルマネージャを開く」があります。右側のメインエリアには「ファイルとフォルダの管理: ファイルマネージャを開く」のリンクと「ステータス: ● 準備完了」が表示されています。

(2) 「wwwroot」をクリックし、EC-CUBE をインストールするドメインのディレクトリを選択(無い場合は「ディレクトリを作成」)します。

このスクリーンショットは、ファイルマネージャのディレクトリ一覧画面を示しています。現在のパスは「/wwwroot」です。操作ボタンとして「ディレクトリを作成」、「ファイルを作成」、「ファイルアップロード」があります。ディレクトリ一覧には「..」、「.com」、「ext」、「1x1.gif」、「banner.gif」、「index.html」がリストアップされています。


「ディレクトリを作成」する場合、下記のように名称を入力できます。本マニュアルでは、「example.com」をサンプルに説明いたします。

ディレクトリの作成

ディレクトリ名を入力

名前の文字数は 151 文字を超えられません

(3) インストール先ディレクトリのアクセス権の変更を行います。

上記で作成した [example.com] のディレクトリに対し [Anonymous Web ユーザー] の書き込み権限を付与します。作成したディレクトリ右側の錠マーク をクリックします

現在のパス: / wwwroot

ディレクトリを作成 ファイルを作成 ファイルアップロード コピー 移動 タイムスタンプ 削除

全17の内1-17; 0 選択済み項目 1ページあたりの項目数: 25 50 100

名前▲	サイズ	最終更新日	アクション
..			
example.com		2010/10/26 20:02:16	
ext		2010/10/25 20:37:36	

(4) [Anonymous Web ユーザー]の書き込み権限にて、[許可]にチェックを入れて、[OK]をクリックします。

アクセス権の設定: / wwwroot / example.com

Display name	Login	User type	読み取り		書き込み		実行	
			許可	拒否	許可	拒否	許可	拒否
<blank>	column.login.blank	アプリケーションプールアイデンティティアカウント	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<blank>	column.login.blank	Anonymous Webユーザー	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<blank>	WIN-SV#w00126071	認証されたFTPユーザー	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

更新 キャンセル 適用 **OK**

(5) インストール用ファイルの編集を行いません。

コントロールパネルにて、[ウェブサイト] [ファイルマネージャー] より、[ファイルマネージャーを開く]をクリックし、wwwroot > ext の順番でフォルダを選択いたしますと、[**-extract.php]という形式のファイルをご確認いただけます。EC-CUBE をインストールするには、[EC-extract.php]のファイルをご選択ください。

サーバー管理 > メニュー > ウェブサイト Screen ID: 2.21.0





ファイルマネージャー

フィルタ: リセット *.* 移動先: /wwwroot/ext

現在のパス: / wwwroot / ext

ディレクトリを作成 ファイルを作成 ファイルアップロード コピー 移動 タイムスタンプ 削除

全7の内1-7; 0 選択済み項目 1ページあたりの項目数: 25 50 100

名前▲	サイズ	最終更新日	アクション
..			
EC-extract.php	2 KB	2010/10/13 14:51:08	
JM-extract.php	2 KB	2010/10/13 14:51:08	
MTS-extract.php	2 KB	2010/10/27 13:28:06	
PW-extract.php	2 KB	2010/10/13 14:51:08	
WP-extract.php	2 KB	2010/11/22 16:09:26	
XP-extract.php	2 KB	2010/11/25 11:49:18	

全7の内1-7; 0 選択済み項目 1ページあたりの項目数: 25 50 100

ファイルマネージャにて[EC-extract.php]のファイルが無い場合は[こちら](#)

(<http://media3.kddi.com/extlib/files/pub/hosting-g/application/zip/EC-extract.zip>)よりダウンロードします。

ダウンロードした圧縮ファイルを解凍し、テキストエディタで開きます。

(テキストエディタが無い場合は、メモ帳へドラッグ & ドロップすると開くことができます)

5 行名の解凍先ディレクトリをお客さま環境に合わせて修正します(赤文字・太字部分)。

お客さま環境の確認方法は、(6)にて確認できます。

```

////////CONFIG/////
define('ARCHIVE_URL', 'http://apps.kddihs.jp/eccube/eccube.zip');
define('PATH_TO_EXTRACT',
'D:¥CustomerData¥webspaces¥webpace_*****¥wwwroot¥解凍先ディレクトリ');
////////CONFIG/////
    
```

- (6) 解凍先ディレクトリ(サーバーパス)は以下の流れで確認します。

[ウェブサイト]より、[ウェブサイトの設定]にて [PHP のサポート:]を選択し、[PHP のサポート:]をクリックし、_SERVER ["APPL_PHYSICAL_PATH"]をご確認いただけます。

The screenshot shows the 'ウェブサイトの設定' (Website Settings) page. The '基本設定' (Basic Settings) section is expanded, showing various service support options. The 'PHP のサポート:' (PHP Support) option is selected and highlighted with a red box. Below the settings, the _SERVER ['APPL_PHYSICAL_PATH'] is displayed as D:\CustomerData\webspaces\webpace_00101241\wwwroot\.

このパス情報を(8)にて設定いたします。(パス情報はお客さまによって上記とは異なります)

(7) 解凍先ディレクトリの編集を行います。

以下のキャプチャは、example.com というドメイン名の場合に、

D:¥CustomerData¥webspaces¥webpace_***¥wwwroot¥example.com¥ec**

にインストールする場合は、

D:¥CustomerData¥webspaces¥webpace_***¥wwwroot¥example.com**と

入れます

```

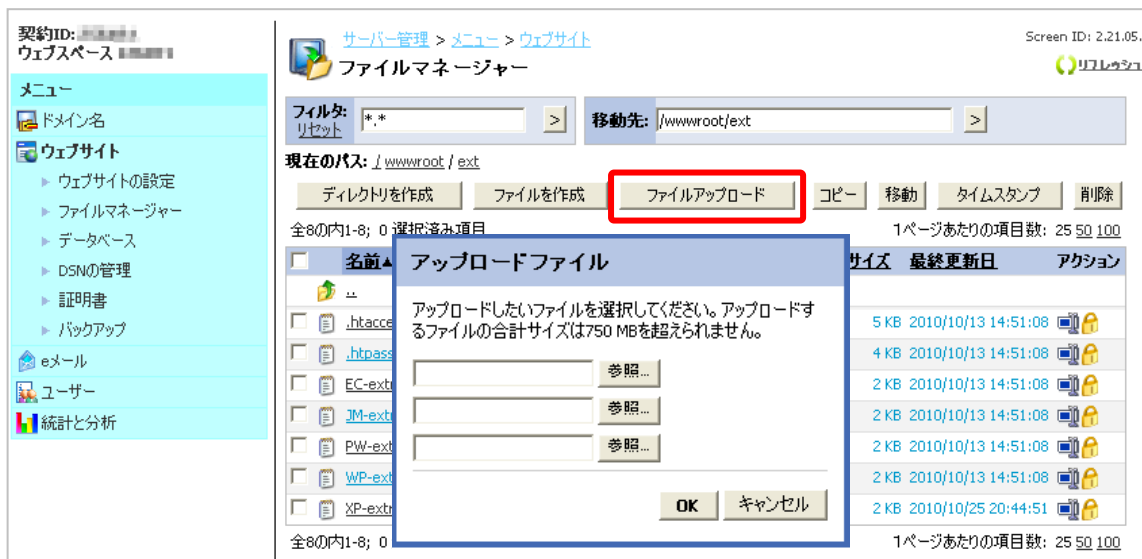
1 <?php
2
3 /////CONFIG///
4 define('ARCHIVE_URL', 'http://apps.kddihs.jp/eccube/eccube.zip');
5 define('PATH_TO_EXTRACT', 'D:¥CustomerData¥webspaces¥webpace_*****¥wwwroot¥解凍先ディレクトリ');
6 /////CONFIG///
7
8 $pattern = '|.+/(.+)$|';
9 preg_match($pattern, ARCHIVE_URL, $matches);
10 define('FILE_NAME
  
```

記述例)
D:¥CustomerData¥webspaces¥webpace_00101241¥wwwroot¥example.com

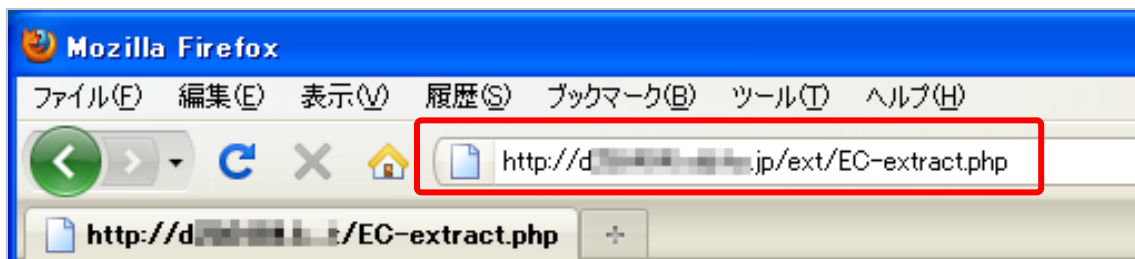
編集したファイルを上書き保存します。(ファイル名: EC-extract.php)

(8) 編集したファイルを「ファイルマネージャ」でアップロードします。

アップロードするファイル	EC-extract.php
アップロード先のディレクトリ	¥wwwroot¥ext



- (9) アップロード完了後、[EC-extract.php]を実行します。メニューより[ウェブサイト]>[ウェブサイトの設定]を選択し、[名前]のリンクをクリックします。新しいブラウザが表示された後、
http://d*****.kddihs.jp/ext/EC-extract.php とアドレスを修正して、アクセスします。



インストールの準備のためのスクリプトが実行されます。

「Start」から「Done」まで大量の結果が出力されます。(千行以上)

```
Start
get http://*****.kddihs.jp/eccube/eccube.zip
file -> D:\CustomerData\webspaces\workspace_00126071\wwwroot\example.com\eccube.zip
extract dir -> D:\CustomerData\webspaces\workspace_00126071\wwwroot\example.com
D:\CustomerData\webspaces\workspace_00126071\wwwroot\example.com\eccube-2.3.0\COPYING
D:\CustomerData\webspaces\workspace_00126071\wwwroot\example.com\eccube-2.3.0\data/cache/
D:\CustomerData\webspaces\workspace_00126071\wwwroot\example.com\eccube-2.3.0\data/class/batch/SC_Batch.php
...
D:\CustomerData\webspaces\workspace_00126071\wwwroot\example.com\eccube-2.3.0/html/user_data/templates/preview/
D:\CustomerData\webspaces\workspace_00126071\wwwroot\example.com\eccube-2.3.0/html/_default.php
Done..
```

※ご参考

「Start」から「Done」まで 4 行程度(数行)しか出力されていない場合は、正しく動作しておりません。



インストールしようとしているディレクトリ(ここでは example.com)に「Anonymous Web ユーザー」の書き込みアクセス権限が付与されているかどうか？(2-4 (4))などをご確認ください。

アクセス権の設定: / wwwroot / example.com

Display name	Login	User type	読み取り		書き込み		実行	
			許可	拒否	許可	拒否	許可	拒否
<blank>	column.login.blank	アプリケーションプールアイデンティティアカウント	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<blank>	column.login.blank	Anonymous Webユーザー	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<blank>	WIN-SV#w00126071	認証されたFTPユーザー	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

(11) 展開されたディレクトリの名前を変更します。メニューの[ウェブサイト]>[ファイルマネージャー]を選択し、wwwroot > example.com の順番でフォルダを選択いたしますと、[EC-CUBE]というディレクトリが表示されます。[EC-CUBE]右側の[ディレクトリ名の変更]ボタンを選択しディレクトリ名を変更します。本マニュアルでは、http://www.example.com/ec/としてインストールするため、ec と入力します。

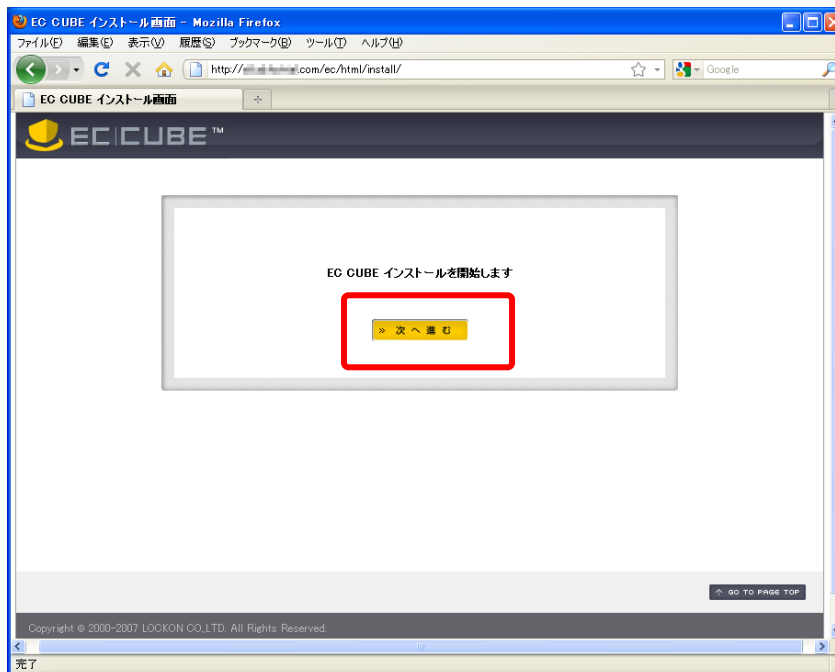
The screenshot shows a web-based file manager interface. At the top, there are navigation links: 'サーバー管理 > メニュー > ウェブサイト'. The main title is 'ファイルマネージャー'. Below this, there are input fields for 'フィルタ: リセット' (containing '**') and '移動先: /wwwroot/...' (containing a domain). The current path is '現在のパス: / wwwroot /com'. There are several action buttons: 'ディレクトリを作成', 'ファイルを作成', 'ファイルアップロード', 'コピー', '移動', 'タイムスタンプ', and '削除'. Below these buttons, it says '全16の内1-16; 0 選択済み項目' and '1ページあたりの項目数: 25 50 100'. The main area is a table listing files and folders:

名前▲	サイズ	最終更新日	アクション
..			
eccube-2.3.0		2010/11/29 18:32:31	
1x1.gif	43	2010/11/29 17:51:19	

A dialog box titled '名前の変更' (Rename) is overlaid on the table. It contains the text '新しい名前を入力' (Enter a new name) and an input field with 'ec' entered. Below the input field, it says '名前の文字数は 133 文字を超えられません' (Name cannot exceed 133 characters). At the bottom of the dialog are 'OK' and 'キャンセル' (Cancel) buttons. A red circle in the original image highlights the rename icon in the table's action column.

(12) EC-CUBE へアクセスいたします。

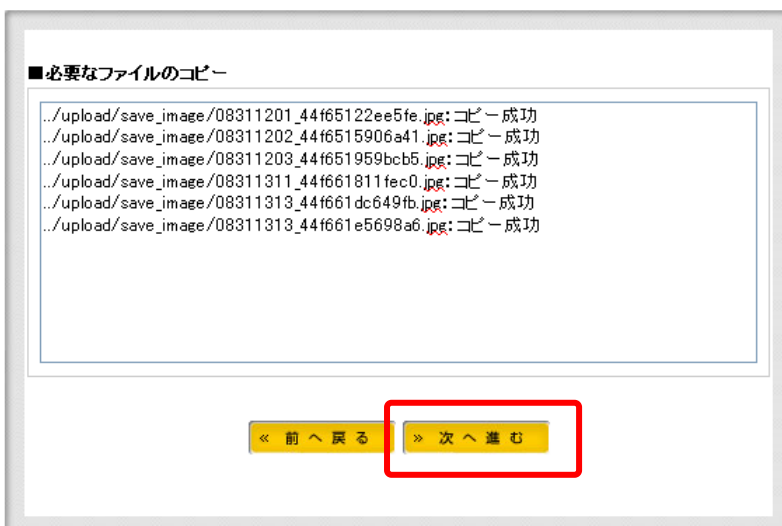
ブラウザで「[http://www.example.com\(お客様のドメイン名\)/ec/html/](http://www.example.com(お客様のドメイン名)/ec/html/)」へアクセスし、インストールウィザードに従ってインストールします。下記画面で、「次へ進む」をクリックします。



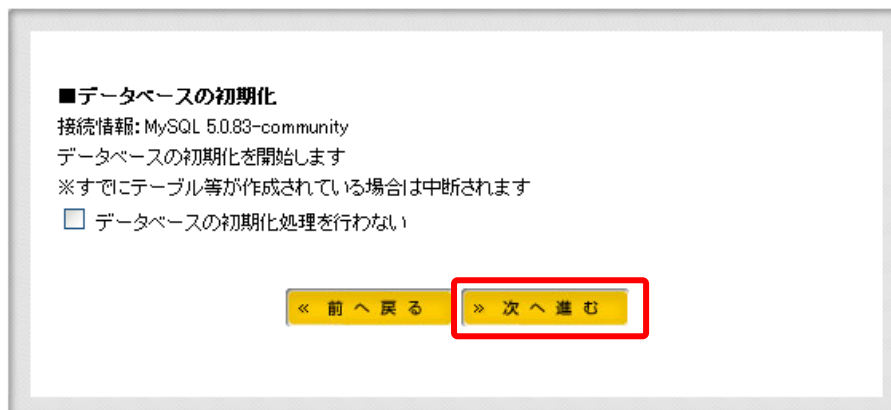
(13) 「次に進む」をクリックします。



(14) 「次に進む」をクリックします。



(16) 「データベースの初期化」を行いません。「データベースの初期化を行わない」にチェックは入れずに「次へ進む」をクリックします。(※ご利用になるデータベースが他のアプリケーションと併用されている場合など、十分ご注意ください。)



■データベースの初期化
接続情報: MySQL 5.0.83-community
データベースの初期化を開始します
※すでにテーブル等が作成されている場合は中断されます
 データベースの初期化処理を行わない

<< 前へ戻る >> 次へ進む

(17) 「データベースの初期化」の画面では、「データベースの初期化を行わない」にチェックは入れずに、「次へ進む」をクリックします。



■データベースの初期化
データベースの初期化を開始します
※すでにテーブル等が作成されている場合は中断されます
 データベースの初期化処理を行わない

○:追加テーブル(dtb_session)の作成に成功しました。
○:追加テーブル(dtb_module)の作成に成功しました。
○:追加テーブル(dtb_campaign_order)の作成に成功しました。
○:追加テーブル(dtb_mobile_kara_mail)の作成に成功しました。
○:追加テーブル(dtb_mobile_ext_session_id)の作成に成功しました。
○:追加テーブル(dtb_site_control)の作成に成功しました。
○:追加テーブル(dtb_trackback)の作成に成功しました。
○:テーブルの作成に成功しました。
○:初期データの作成に成功しました。
○:カラムコメントの書き込みに成功しました。
○:テーブルコメントの書き込みに成功しました。

<< 前へ戻る >> 次へ進む

(18) [サイト情報について]の画面では、EC-CUBE のシステム向上、デバッグの協力の可否を選択します。ご任意で選択いただき、[次へ進む]を選択します。。

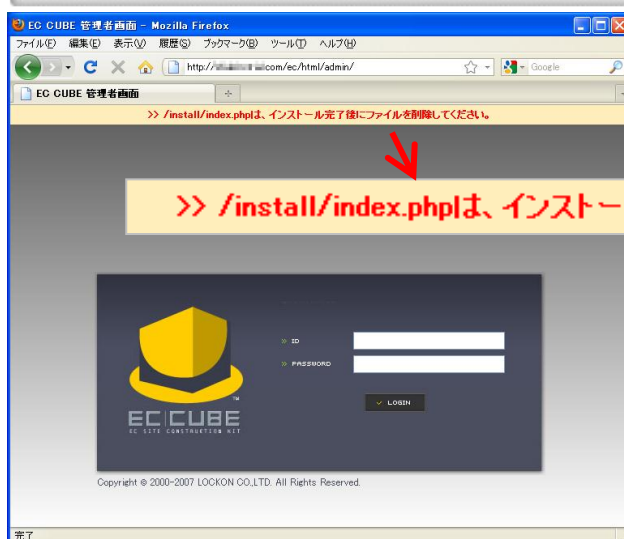
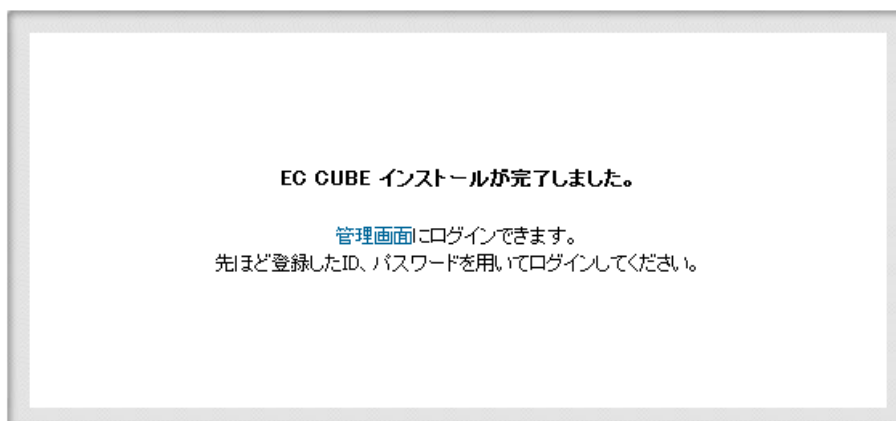
■サイト情報について
EC-CUBEのシステム向上及び、デバッグのため以下の情報のご提供をお願いいたします。

- サイトURL: http://[redacted].com/ec/html/
- 店舗名: デモショップ
- EC-CUBEバージョン: 2.3.0
- PHP情報: 5.2.9-2
- DB情報: MySQL 5.0.83-community

はい(推奨) いいえ

<< 前へ戻る >> 次へ進む

(19) EC-CUBE のインストールが完了しました。「管理画面」をクリックすると管理画面へログインできます。
「index.php は、インストール完了後にファイルを削除してください。」と表示された場合は、コントロールパネルのファイルマネージャなどを使い、削除します。



※ご注意

EC-CUBE の機能や管理画面の操作方法は、サポート対象外となります。
詳細については、書籍またはインターネット等をご活用ください。